

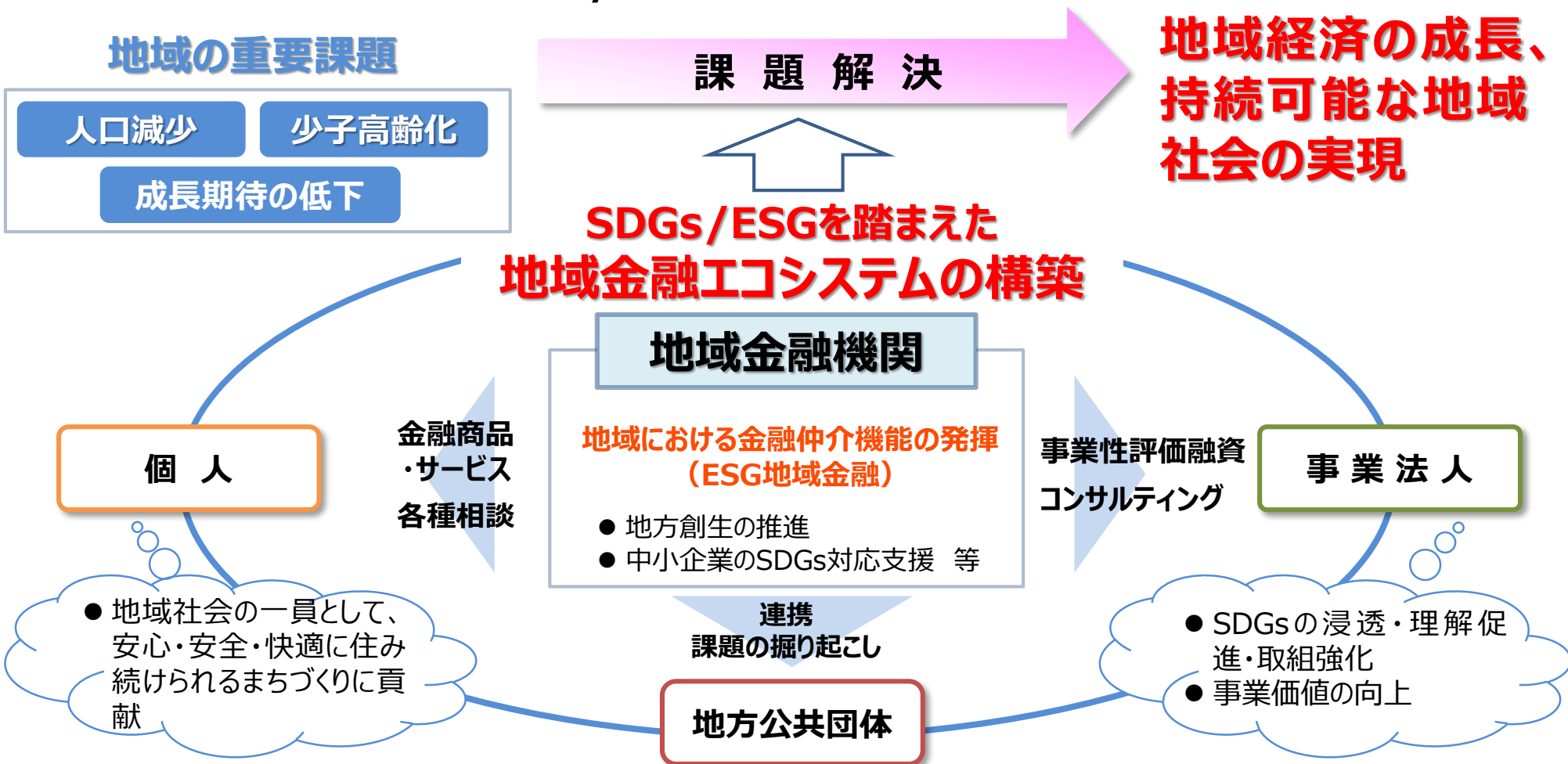
ESG金融ハイレベル・パネル 第2回会合

地方銀行におけるSDGs/ESGの取組み

一般社団法人 全国地方銀行協会
Regional Banks Association of Japan

SDGsへの取組みを通じた地域の課題解決

- 地方銀行は、地域の課題解決や地域企業の生産性・企業価値向上を図ることで地方創生に取り組み、地域経済の成長や持続可能な地域社会の実現に貢献。
- 地方創生への取組みは地方銀行にとってSDGs推進そのものであり、自らの企業価値を向上させていく観点からも、SDGs/ESGへの取組みを強化している。



- 地銀協は、2019年度事業計画に「SDGs/ESGへの取組み」を掲げている。
- これに基づき、地銀界のSDGs/ESGの取組強化を支援する活動を積極的に展開。

地銀界の取組み強化に向けた活動

- 代表者会合における検討の取りまとめ
 - 基本問題調査会（地方銀行23行の頭取で構成）の上期（2019年7～12月）テーマに、「地方銀行とSDGs/ESG」を設定
 - ✓ 有識者講演や意見交換を実施
 - ✓ 地方銀行の取組みの現状と留意点等について取りまとめ
- 各種会合における会員銀行向け情報提供
 - 経営企画部門や広報・SDGs部門等の部長級・担当者級の会合や研究会で、有識者講演や意見交換を実施

地方銀行の役職員に対する研修の充実

- 役員級研修における講義の実施
 - 役員級（取締役、監査役等）の集合研修で、SDGsと地方銀行の役割に関する講義を実施
- 来年度研修事業計画への組み込み
 - 2020年度研修事業計画において、階層別の集合研修に以下のカリキュラムの組み込むことを掲げた
 - ✓ SDGs/ESGに関する講義
 - ✓ 中小企業へのSDGs対応支援の演習等

地方銀行の取組み支援ツールの作製

● 行員向け啓発ツールの開発

- SDGsバッジ約6万個を共同調製
- SDGsについて漫画で解説したチラシを作製

● 取引先向け啓発ツールの開発

- SDGsに関する解説パンフレットを作製（年度内予定）

<行員向け>



<取引先向け>



地方銀行の取組み状況の把握

● 全行アンケートの実施

- 2019年10月に実施（前回2018年12月）
- 全64行のSDGs/ESGの推進体制や取組状況を調査し、ノウハウや課題を共有
- 前回と比べ、地方銀行の取組みは広がっている（次頁参照）

TCFD提言への対応に関する検討

● TCFD提言に沿った開示に関する検討

- 次課長級の会合で、TCFD提言に沿った効果的な開示の方策について検討

【参考】全行アンケートの結果

- 今回アンケート（2019/10）と前回アンケート（2018/12）の結果を比較。
- 態勢整備、行動宣言の策定、情報開示など、地方銀行の取組みは広がっている。

項目	今回（2019年10月）	前回（2018年12月）
SDGs/ESGに対する取組み	58行	44行
主管部署やプロジェクトチームの設置	45行	28行
自行の取組みをSDGs/ESGの観点から整理	57行	39行
SDGsの優先課題の決定	23行	2行
事業計画への反映	22行	6行
行動宣言や行動憲章の制定	42行	16行
SDGs/ESGを意識した投融資方針の策定	13行	6行
SDGs/ESGに関する取組状況の開示	52行	32行
統合報告書の発行	17行	5行

個別銀行における主な取組み事例【その1】

■ 地方銀行はSDGs/ESGの取組みを積極化しており、今後も業界全体で強化していく。

SDGs/ESG関連宣言・賛同・署名の対応状況 (地銀協会員64行、2020年2月末現在)

- SDGs宣言の対外公表：38行（広島、紀陽、百十四 他）
- TCFD提言への賛同：6行
（コンコルディアFG（横浜）、千葉、滋賀、九州FG（肥後・鹿児島）、東邦）
- 責任銀行原則への署名：1行（滋賀<2020年2月>）

SDGs/ESG関連商品の活用例

- 東邦銀行「ESG/SDGs貢献型融資」
 - ESGに係る数値目標・施策を宣言またはSDGsに係る施策目標を決定した事業者を対象とした金利優遇型の融資商品
 - 事業者の目標達成を金融面からサポート
- 百十四銀行「百十四SDGs環境応援ローン」
 - 環境に関する公的認証の取得（予定）事業者を対象とした金利優遇型の融資商品
 - 環境対策やリサイクル製品の開発資金等を提供

SDGs/ESGを意識した投融資方針例

- 紀陽銀行 ～ 石炭火力発電・森林伐採への対応方針
 - 石炭火力発電は他の発電方式に比べ温室効果ガスの排出量が高く、気候変動等への影響が懸念されるため、新設の石炭火力発電所建設を資金用途とする投融資取組みは原則として行わない
ただし、災害時対応等でやむをえない場合、国のエネルギー政策等による高効率の発電所建設の場合などは、慎重に検討
 - 森林伐採を伴う資金用途に対する投融資に取り組む際は、違法伐採、環境への影響等を確認のうえ、慎重に検討
- 肥後銀行、鹿児島銀行 ～ 持続的な地域社会発展への貢献を目的とした投融資方針
 - 気候変動の抑制に資する事業、生物多様性保全に資する事業、地域の基幹産業の振興に資する事業、文化財保全に資する事業、防災・減災に資する事業等に対し、積極的に支援

■ 地方銀行はSDGs/ESGの取組みを積極化しており、今後も業界全体で強化していく。

取引先のSDGsの取組み促進・支援例

- **滋賀銀行 ～ 取引先の販路開拓支援やコンサルティング活動**
 - SDGsビジネスに取り組む取引先の販路開拓等を支援するため、SDGsに関するビジネス・マッチングフェアを開催（2019年度は、117社・団体が出展し、935件の商談が行われた）
 - 取引先の経営に対するSDGsの実装を支援するため、SDGsに関するコンサルティングを開始。マテリアリティの特定やKPIの設定等を支援
- **広島銀行 ～ 取引先のSDGs取組支援サービス**
 - 取引先のSDGsの取組み状況をチェックシートにより確認し、必要対応事項を整理してフィードバック
 - 各社専用の「SDGs宣言」を策定し、対外PRを支援

事業性評価へのSDGs/ESGの観点の反映例

- **鹿児島銀行 ～ 取引先へのヒアリング**
 - 取引先におけるSDGsの取組状況をヒアリング
 - 営業店が個社別に作成する「事業性評価シート」に、取組状況を反映させる項目を追加

地域の環境保全に向けた取組み支援例

- **常陽銀行 ～ 公益信託「エコーいばらき」環境保全基金**
 - 茨城県内の環境保全に取り組む市民活動の資金面での支援を目的に、1992年10月に設立
 - 助成金累計 1,294件/140,685千円（2019年3月末現在）